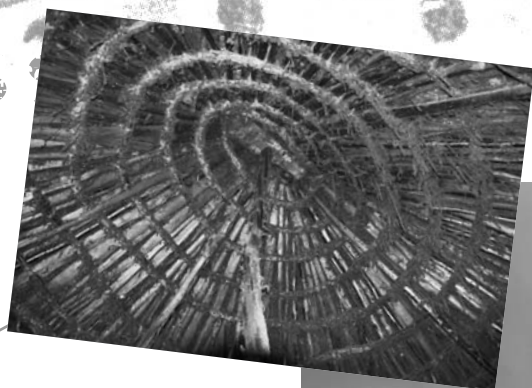


9 月号  
VOL. 480

# 土會茶良



小屋組みを  
見上げたところ

エチオピアの円形農家

農家での  
コーヒーセレモニー

SHIKAI

# 2014 NARA

## 表紙のことば

### エチオピアの円形住居



円形農家でビール搾りを習う筆者

エチオピアの農家は丸い。丸い壁を作って垂木をあげてその先を間取り中心柱の上の一か所に集中させる。なぜ丸いのか、現地のツアーガイドによると、エチオピア正教と関係があるという。円形は始めがなくで終りが無い。全知全能の神もAからZまでこの世の全てを御存じであり、その命に始めがなく終わりもない。よって神に守られる正教徒の家は神の名において円形でなくてはならない、という。かなりこじつけな気もする。私の解釈では高地エチオピアは寒いので住宅の熱効率を良くするために丸いのではないかと思う。エチオピアはローマ帝国が受け入れる遥か以前にキリスト教を国教化しており、しばしば肉を食べない「断食」を実施する等、原始キリスト教の原型を色濃く残している。

円形住宅の間取りは人間部分と家畜部分に分かれる。家畜部分には牛やヤギが入り、人間部分は炊事場兼食堂、居間となる。ベッドは家畜部分の上に取り付ける。夜の寒さも家畜の熱でいくらかましになるのだという。もちろん家じゅうに家畜の臭いがするので気になる人には住めない。また猫や庭飼いの鶏もしばしば住居に入ってきて走りまわる。

この円形住居の外観は、日本人のイメージでいえば弥生時代の竪穴式住居である。基本的には一間の住宅で生活の全てを行う。主食のインジェラを焼くのも、古代エジプト方式の地ビールを造るのも、コーヒー発祥の地らしくコーヒーセレモニーを行うのも、すべてこの一間の住宅。

私が滞在していたのはシミエン国立公園で、標高は2800mから5000mのあたり。エチオピアの高原地帯である。付近に生えている木を使って数日で建ててしまうこの円形住宅の工法は恐らく数百年間変わっていないと想像される。長さは人間の肘から指の先までを一単位として、間取りの大きさは半径が肘長さの7倍、という具合に計る。肘から指先までが50cmだとすると、7倍は3.5mとなり、家の直径は7mとなる。材木はほとんどユーカリになってしまっている。

最初に親の家があり、息子が嫁を貰うと隣に別の円形住居を建てて別居する。こうして兄弟が次々に新居を親の家の周りに建てて全体を塙で囲う場合もある。

(記・阪本日出雄 国際開発コンサルタント (株)パデコ)

### 情報・広報委員会

委員長	松尾 憲治	
副委員長	田上 圭吾	折目 貴司
委員	乾井 哲	岩城由里子
	鷓山 治	大倉 克之
	小松原寛俊	崎山 泰正
	福西 保夫	福本 保治
	藤井 靖彦	宮浦 重彦

---

# Contents

002 森林技術センター  
第4回「木が木でなくなる話  
「熱処理による木材の高耐久化」

004 教育事業委員会・  
女性委員会・  
青年委員会  
「石川県の建築見学の旅」

006 郡山支部  
「『郡山城下町建物探訪』の  
活動報告とお願い」

008 青年委員会  
「模型講習会【初級編2  
模型のチカラ】レポート」

010  
「平成26年度 奈良県エリアマネジメ  
ント推進事業経過報告 ー1回目；  
桜井市本町地区ー」

011 五條市立文化博物館  
「江戸時代の地域(現奈良県五條新町)  
の大工職人」

012 青年委員会  
「大和さくらい万葉まつり」

013 お知らせ  
「平成26年度 一級・二級・  
木造建築士定期講習のお知らせ」他

# 木が木でなくなる話

## 第4回「熱処理による木材の高耐久化」

### 1. はじめに

前号と前々号では、薬剤を木材中に含浸することで「腐る、狂う、燃える」という木材の三大欠点を解消する技術についてお話ししましたが、最近、薬剤を全く使わないで、熱処理によって木材の耐朽性や寸法安定性を改善する技術が注目を集めています。

センターでは建築解体材等の資源を有効に活用するための研究開発として、それらから作った木チップを種々の外構資材として用いることを目指して、木チップに耐朽性を付与する目的で、熱処理に関する研究を行っています。そこで今回は、木材の熱処理による改質技術について解説したいと思います。



図1 熱処理木材で作られたルーバー\*



図2 窒素ガス加圧下での熱処理装置の外観\*

### 2. 木材の熱処理

木材を200℃以上の温度で熱処理することで疎水化が起こり、それによって寸法安定性が向上することは古くから知られていましたが、1990年頃にオランダやフィンランドなどのヨーロッパ諸国と我が国で、それぞれ別々に実用化されました。我が国にあっては、独自で開発した技術に加え、フィンランドの技術を導入して、熱処理木材を生産しています。「薬剤を使わない」エコロジー材料として、スギ材を主体にして、年々生産量が増えています。熱処理により、木材は暗色化し、若干脆くなりますが、反りや割れの発生が抑制されるほか、耐朽性が改善されます。その特徴

を活かして、外構材や水廻りの部材が作られています(図1)。200℃以上の熱処理では可燃性ガスの発生と発熱を伴い、大気中では燃え出してしまうので、処理は窒素などの不活性ガスや過熱水蒸気を充填させるなどして、無酸素状態でを行います。図2は窒素加圧下で処理を行う装置の外観ですが、同装置では加圧状態の窒素ガスを循環させて温度ムラを小さくする工夫がなされています。

### 3. センターでの熱処理研究

センターでは前述しましたとおり、廃棄物等から得た木チップに耐朽性を付与することを目的として、今から5年ほど前に木材の熱処理に関する研究を始めました。無酸素状態にする手段として過熱水蒸気を用いることにしました。図3は実験用に特注した熱処理装置の外観とその模式図です。ボイラーで発生させた水蒸気を電熱ヒータにより300~500℃に熱し、それを処理槽の下部から導入して、空気と置換すると同時に加熱媒体とします。余剰の過熱水蒸気は、処理槽の上部にあるダンパーから外部に放出されます。この装置は圧力容器ではなく、常圧で処理を行っており、下から上への水蒸気の流れによって槽内の温度ムラを抑制しています。

この装置を使って、熱処理をした木材の物性を調べた結果、熱処理の条件が厳しくなるほど、重量減少が大きくな

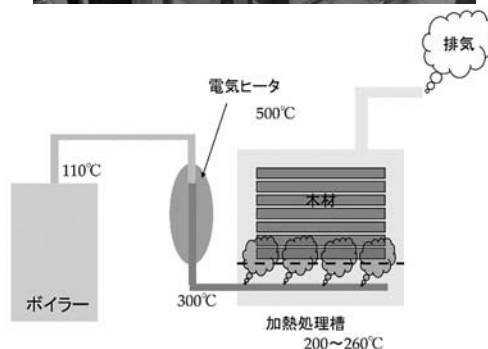
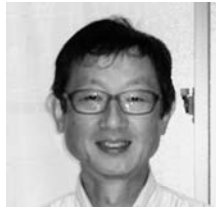


図3 過熱水蒸気処理装置の外観(上)と模式図(下)



略歴 伊藤貴文 (いとう たかふみ) 奈良県森林技術センター副所長  
 1956年京都市生まれ。1982年3月京都大学大学院農学研究科林産工学専攻修士課程修了。1983年4月奈良県林業試験場(現森林技術センター)勤務。1997年7月、京都大学より農学博士の学位授与。2013年より現職。専門分野は「木材の化学加工」、「木質バイオマスの利用」

賞罰

- ・スギ樹皮を原料とする和紙製造技術によって、1994年5月、日本林業技術協会より第40回林業技術賞授与。
- ・水溶性薬剤による木材の化学修飾に関する研究(寸法安定化・高耐久化)によって、2002年1月、日本木材学会より第3回技術賞、同年4月、文部科学大臣賞(第22回科学技術振興功績者)
- ・吸湿性を抑えた不燃化技術によって、2010年5月日本木材加工技術協会より第55回加工技術賞授与。

りますが、そのほとんどがヘミセルロースの分解によるものでした(図4)。木材は疎水化して、湿度変化に伴う含水率の変動が小さくなり、その結果、熱処理木材の寸法変化は、元の木材の半分以下になることが分かりました(図5)。図6は、オオウズラタケという木材腐朽菌を用いて、処理条件が異なる熱処理木材を強制的に腐朽させたときの重量

減少率(縦軸)と熱処理に伴う重量減少率(横軸)との関係を示したグラフです。この図から、熱処理に伴う重量減少率が20%以上あれば、どんな樹種でも腐朽菌による分解が進まず、高い耐朽性が発現することが分かります。

4. 木チップの熱処理とそれを用いた試験施工事例

これまでお話ししてきた小型の実験機で得られた知見に基づいて、チップを連続的に熱処理できる装置を開発しました。また、熱処理したスギチップを使って、当センター内に木チップ舗装を試験施工して、耐久性等の評価をしています。現在約6年が経過しましたが、無処理のチップを使った舗装ではチップの剥がれや雑草の進入が顕著になり、ほぼ耐用年数に達した感がありますが、熱処理をしたチップを使った舗装は健全であり、舗装の高寿命化が図れました(図7)。舗装とは別に、センター本館の屋上にチップを10~20cmの厚さに敷き詰め(図8)、屋上敷設資材としての性能を評価したところ、夏季における階下の部屋の温度を2℃以上低下させる効果が認められました。その他、ケナフ芯材の熱処理チップは、土壌代替材としてポット苗の生長を著しく助長する資材であることが分かりました。このように熱処理したチップ材は色々な用途に使える、とても有望な外構用資材となる可能性があります。今後はどれくらいのコストで熱処理チップが供給できるかなど、経済面からの検討をする必要があります。

\* 図1、図2：江間忠ウッドベース(株)提供

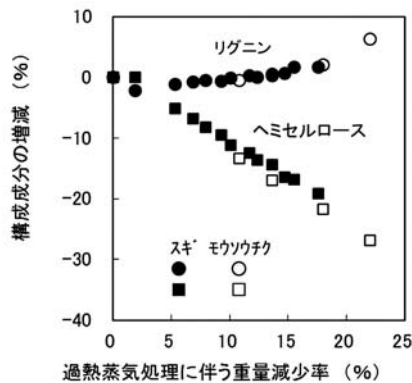


図4 過熱蒸気処理に伴う構成成分の増減

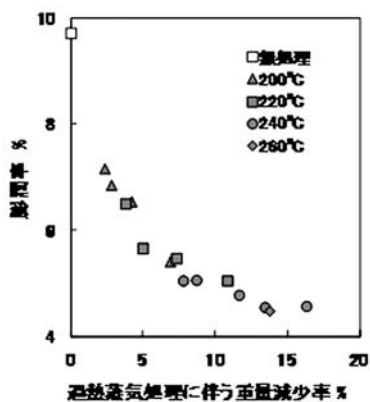


図5 過熱蒸気処理に伴うスギ材の寸法安定効果

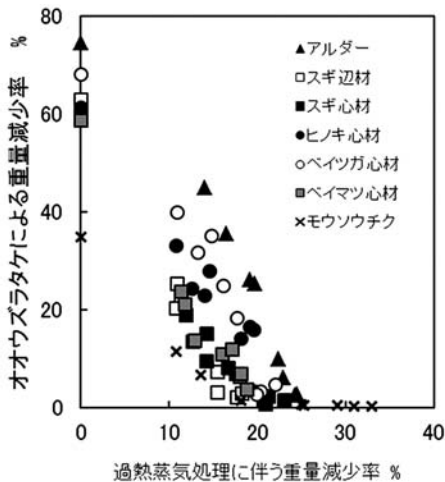


図6 過熱蒸気処理に伴い発現する耐朽性



図7 試験施工した木チップ舗装(6年経過)



図8 屋上敷設資材としての性能評価試験



## 教育事業委員会・女性委員会・青年委員会 石川県の建築見学の旅

7月5日(土)～6日(日)、近頃の局所集中豪雨の予報を心配しながらの見学旅行でしたが天候に恵まれ楽しく忙しい建物見学の旅と成りました。

### ○からくり記念館

(1996年 内井昭蔵／内井昭三建築設計事務所)

金沢大野町が産んだ奇才からくり師大野弁吉(中村屋弁吉)の業績を顕彰し、近代技術のあけぼのを代表する「からくりの世界」を収集陳列した博物館である。大野弁吉は京都五条の生まれで、後に大野町(旧:大野村)の中村屋八右衛門の娘と結婚、近隣の豪商銭屋五兵衛の援助を受け数々の業績を残し此の地で70歳の生涯を閉じる。敷地は、後援者銭屋五兵衛の北前船が海に向かって船出するイメージから、あえて金沢港突堤の最先端とし、環境の厳しい場所に建つ。建物は「からくり」を象徴するダイナミックな動きを表現した構造で博物館には不向きな木構造=北前船として表現されている。形態が楕円のため構造解析は三次元となり、いかにもからくり館らしい建物である。内部は唐傘を広げた形で壁面は一部透明ガラスに和紙の障子をはめ込み自然光を取り入れている。時間の都合上急ぎ足で見学。



動きのある外観



壁面に障子をはめ込んだ展示室

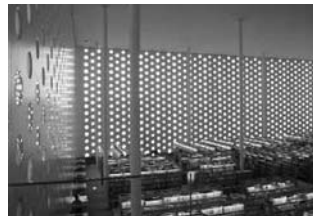
### ○金沢みらい図書館

(2011年 堀場弘+工藤和美／シーラカンズK&H)

金石街道と金沢外環状道路海側幹線(新旧の時代が重なる)の交差点に建つ、高さ12m・平面45m×45mのパンチングウォールの白い立方体の壁面に約6000個のガラスブロックが埋め込まれている。内部3階休憩コーナーブリッジから2階一般図書コーナーを見ると300φ-25本の柱で支えられた大空間(空気のボリューム感)が有り、壁一面に打ち込まれた3種類のガラスブロックから差す柔らかい光によって、落ち着いた空間を作っている。



公共緑地が広がる外観



25本の柱で支えられた大空間

時代を超えて、人と本が関わる空間を提供できる施設として「みらい図書館」と名付けられたのだろうか。

### ○成巽閣

兼六園の東南端にある、13代藩主前田斉泰が母のために1863年に建てた2階建ての隠居所で、もとは巽御殿と呼ばれていた。1階は、謁見の間(清香書院)・寢所(亀の間)・居間(蝶の間)・松の間・茶室(清香軒)がある。茶室の清香軒は3畳台目向切原雙床、矩手に廻された大きな土庇が特徴。外部境に雨戸が建てられ、冬には謁見の間から樽縁を通過して土縁に下り席入りする。土縁には、飛鶴庭に流れる辰巳用水を取り込み、自然石や延石が配され内露地が形成されている。他の季節の茶会時には、雨戸は敷居ごと取り払うことができる。2階は、群青の間(ウルトラマリンブルー)・紫の壁の間・網代の間等鮮やかな色壁を大胆に使った寝殿造りの御殿。

### ○鈴木大拙館

(2011年 谷口吉生／谷口建築設計研究所)

明治3年、金沢市で生まれ27歳でアメリカに渡り、講演や著作により日本語音訳「ZEN」が知られる事となった日本の禅文化を世界中に広めた仏教学者。(37歳帰国・95歳没)敷地周辺は、加賀藩筆頭家老であった本多家下屋敷跡があり、前面は、原生の樹木が茂る傾斜地が迫る。建物は、「玄関棟」「展示棟」「思索空間棟」の3棟を回廊で繋ぎそれぞれには「玄関の庭」「露地の庭」「水鏡の庭」が配されて構成されている。施設内部の展示物は、最小限に抑えられ来館者が空間を回遊することで鈴木大拙を知り、学び、感じる様に考えられている。水鏡の庭に浮かぶ思索空間棟を眺め、思索空間棟内から水鏡の庭を眺め、四季折々の水に映る景色に思いを馳せる。



原生の緑を借景にした「露地の庭」



水鏡の庭に浮かぶ「思索空間棟」

鈴木大拙館見学で5日のコースを終え、歩いてホテルへ。夕食は、今回見学担当の本保女性委員長お勤めの、美味しい金沢の郷土料理と地酒を頂きました。

### ○西田幾太郎記念哲学館

(2001年 安藤忠雄建築研究所)

明治3年、石川県がほく市に生まれる。奇しくも鈴木大拙と同じ年。また地元学校も同じで、ともに学び生涯深い交わりを続け、幾太郎は哲学を、大拙は禅を極めていくこ

ととなった。先に行った鈴木大拙館の入場券半券を持って西田幾多郎記念館に無料で入館できた。今日まで二人のつながりが続いているということだろうか。敷地は幾太郎の生まれ育ったかほく市の丘陵に有り、階段庭園からはアカシヤの原生林を活かし梅、桜、等の木立に覆われた哲学の森が広がり、その先にかほく市の街並みを臨む事ができる。記念館は、ミュージアムとセミナーホールの2棟からなる。建物のテーマは、哲学＝「考える」。建物の中は迷路のように入り組み、迷いながら考え、進む。館内には考えるにふさわしい空間が有りセミナーホール地下「ホワイエ」はすり鉢状の吹き抜けが広がり、天窓から差し込む陽の光が神秘的な空間を作り出す。瞑想の場として、またギャラリーとして使用されるそうです。ミュージアム地下には狭い通路の先に開放的な「空の庭」が有り四角に切り取られた空が広がり、冬は雪が積もり、春は待ち焦がれた暖かい光でいっぱいになる。季節の一瞬の気配を感じ考える空間が有ります。



階段庭園



ギャラリー棟地下:「ホワイエ」天窓

### ○サイレントヒルズこまつ

(2014年 元倉眞琴／スタジオ建築計画+伊藤麻里／UAO)

小松市は、江戸時代から前田利常公の殖産興業政策により城下に職人たちが集まり「ものづくり」を生業として繁栄してきた歴史がある。現在は、建設機械メーカー：コマツ、間仕切りメーカー：コマニー、国内バス製造：ジェイ・バス等有数の企業がある。見学地は、JR小松駅東口に隣接、コマツの小松工場跡地（一部を小松市が買い取る）に科学技術を支える人材育成の場として産業振興の機能を持ち又科学技術を体験できる「人とのづくり科学館」としてプロポーザル方式で設計者を決定、今年三月にオープンした。建物は、コンクリートスラブが何重にも重なり屋根の上には、一部植栽された散策の小路が有り開園時間内には、地域の人たちが散歩できる親しみのある公共施設をコンセプトに計画されたものである。安全上の無粋なフェンスと雨降りに通行するには、危険な道の勾配と表面仕上げ。雨天時には、通行禁止とするのだろうが雨や雪の多い地域の施設としては残念に思う。しかしながら駅前公園からの連続性と背面に有る小松製作所の研修施設との兼ね合を考えた計画は全体として綺麗に収まっている。



屋上散策路



施設背面にコマツ研修施設を臨む

### ○加賀片山津温泉街湯

(2012年 谷口吉生／谷口建築設計研究所)

加賀市には山代温泉、山中温泉、片山津温泉など歴史のある温泉が多く有るが他の温泉同様昔の面影はなく、片山津温泉街湯は廃業した旅館の跡地に建っている。街湯の柴山湯には、加賀市の護岸工事を兼ねた遊歩道が途中まで整備され水辺の景色をガラス張りの建物の中と外で楽しむことができる。街湯＝総湯は誰でも入れる温泉で地域の交流の場所で観光客も利用できる。地下2階・地上2階。1階下足コーナーと券売所を隔てて湖側が「瀧の湯」、後方の薬師山に続く森側が「森の湯」、日替りで男女入れ替え、本日女湯は「森の湯」。湯船に浸かると水面が森と同化し庭の木々が水面に映り、いかにも谷口の水の使い方のうまさに驚く。「瀧の湯」も見たかったが、次回の楽しみとする。今回の見学建物で、5日のからくり館と金沢海みらい図書館、加賀片山津温泉街湯は夜、明かりが付いた外観が見てみたい。



紫山瀧遊歩道から見た街湯

### ○中谷宇吉郎雪の科学館 (1999年 磯崎 新)

地上2階建て。1階RC+PC造2階木造。六角形の基壇に内側に傾斜した六角柱の壁、六角錐の屋根をかぶせた塔が三棟連なったギャラリーと、グリーンランドから運び込んだ中庭:「氷河堆石の庭」を挟んでガラス張りの喫茶室に至る。喫茶室からは柴山瀧を一望し、右側に先ほどの見学地片山津温泉街が、瀧越しに白山連峰を臨むことができる。(記・檀原支部 安田千鶴代)



喫茶室の先に紫山瀧が広がる



氷河堆石の庭とギャラリー棟



## 郡山支部

# 『郡山城下町建物探訪』の活動報告とお願い

～「郡山として大切にしたい建物50選」の選定と町家調査(聞き取り調査)の計画概要～

### 【これまでの経緯】

一般社団法人奈良県建築士会郡山支部では、歴史ある大和郡山市の現状を知り、美しい町並みと歴史的建造物の保存活動を進めるため、町家の調査を実施しています。平成25年10月号では、文化庁の「地域伝統文化総合活性化事業」に対して奈良県建築士会が行う事業の一環として、「箱本制度※」と呼ばれる住民自治を行っていた13の町（箱本十三町）を中心とした城下町の悉皆調査の概要及び調査結果のパネル展示と、空き家の利活用提案についてご報告しました（調査期間：平成22年10月～平成25年3月）。

平成26年度は、調査した建物の中から時代を象徴する建物を「郡山として大切にしたい建物50選」として選定し、その建物の所有者・居住者の方に聞き取り調査を実施、将来の郡山の町並みを考える上で大切な歴史的価値や文化的価値を記録することに取り組んでいます。

### 【箱本十三町を中心に進む町家（歴史的建造物）の減少】

昨年度までの調査から、箱本十三町を中心とした城下町における大正期までの建物は、大和郡山市によって30年前に調査された時に比べて半減し、調査物件である歴史的建造物の2割程度が空き家であることがわかりました。調査結果をまとめて以降も、町家（歴史的建造物）の減少は進んでおり、城下町としての歴史や町並みが消えつつある状

況にあります（図表－1参照）。

昨今では全国的に、地域の伝統文化を活かした住まいと面的なまちづくりが多くみられるようになってきましたが、郡山においても次世代に城下町の雰囲気を残し、町の歴史を伝えるために、町家をはじめとする歴史的建造物の保存と活用は大切な取り組みであると考えています。

### 【「郡山として大切にしたい建物50選」の選出】

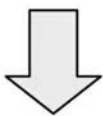
数が減ってきたとはいえ、郡山城下町には、今なお多くの町家が残っており、また、商店街には町家の軒先をハイカラに改装した、住居と店舗が一体となった看板建築も多数存在しています。このような、郡山の城下町としての風景を形成している建物の中から特に、それぞれの時代を反映している建物を「郡山として大切にしたい建物50選」として選出（図表－2参照）、今回の調査にご協力いただける所有者・居住者の方から建物の歴史や住まい方をお聞きし、これからの住まいや町並みについて考える糧にしたいと思っています。

### 【聞き取り調査の方法と調査結果の取扱いについて】

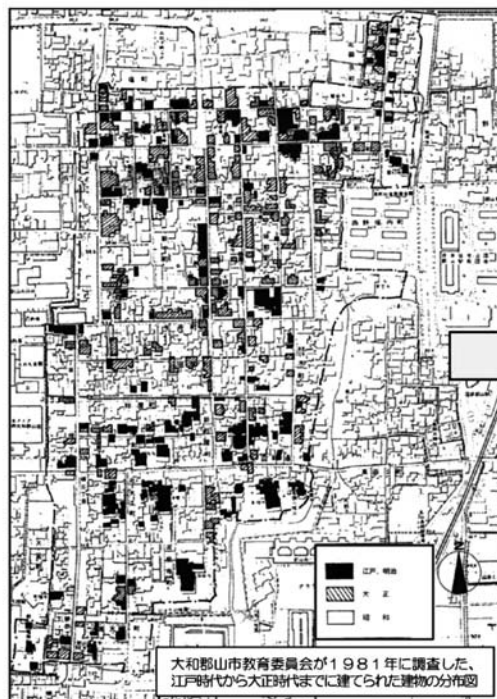
今回の調査では、建造時期や構造規模・用途の変遷等といった基本的な事項や、建物現況及び周辺状況、歴史的特徴・建築的特徴のほかに、建物の歴史や暮らし方・建物への思い・歴史的な建物で住み継ぐ意味等についても聞き取り調査を実施、可能であれば聞き取りの実測調査も行うこと



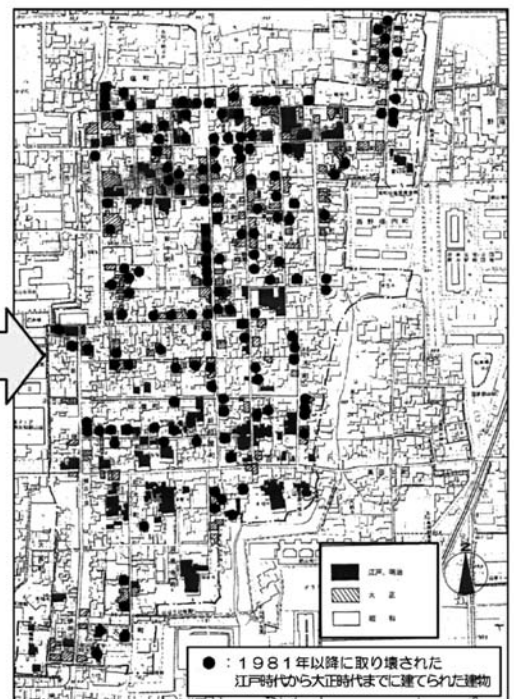
【1981年頃の矢田町通】



【2012年の矢田町通】

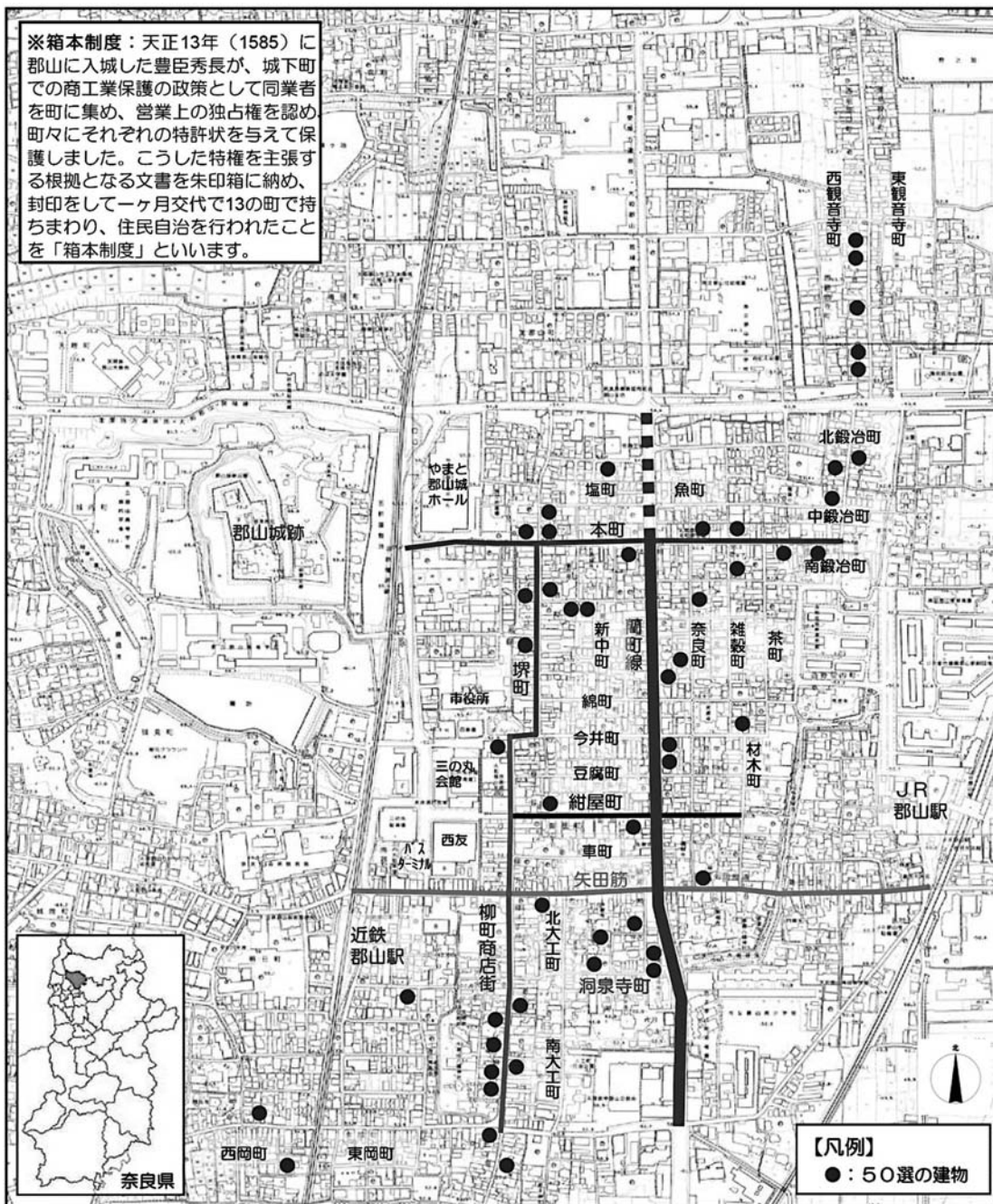


【1981年の箱本十三町】



【2011年の箱本十三町】

【図表－1 箱本十三町を中心とした城下町に残る町家の変化】 ●印の数だけ町家等が減少



【図表-2】 奈良県建築士会郡山支部が選ぶ「郡山として大切にしたい建物50選」の分布

としています。なお、50選に選定した建物の所有者・居住者の方へは、事前に今回の調査主旨の説明及び調査にご協力いただけるか否かの意向確認を行い、8月からはご了承いただいた建物から順次、本調査を進めています。

調査結果は建物毎にシートにまとめ、建物所有者・居住者の方のプライバシー等に充分配慮した上で、建築士会のホームページに掲載していく予定にしています。

今回調査の成果が、建物だけに注目することなく、そこに暮らす方々の思いに寄り添いながら、郡山城下町という町のアイデンティティを多くの人と共有し、未来に向けた取り組みに無理のない形で繋がっていくことを願っています。また、市民の皆様で私達の活動に賛同いただける方をご参加ください。

(記・郡山支部 徳本雅代、何左昌範、折目貴司)



青年委員会

## 模型講習会【初級編 2 模型のチカラ】レポート



開催日時 平成26年 8月 9日(土) 10日(日)  
9:00~14:00

開催場所 奈良県建築士会会館

参加者 8名

台風の接近で開催が危ぶまれましたが、昨年度に引き続き今年度も模型講習会を開催させて頂きました。図面だけでは伝わりにくい情報を3次元の模型を使いわかりやすく説明するプレゼンツールとしての模型の制作講習会です。講師も株式会社大和工藝より2名の体制にて臨みました。昨年と同じ模型制作をしたことがない、もしくは独学で少し制作したことがあるといった方を対象としました。しかし、前回と同じことをしたのでは面白みがないので今回、建物に加え外構の制作にも範囲を広げました。

さらに今回はただ作るのではなく、模型をどう生かすか、という実践的な部分にも踏み込んでみようと考え、同じ青年委員で模型を活用し御施主様と計画を進めている山口哲央委員に『模型のチカラ』と題し、プロジェクトで実際に使用した模型を交え活用術をお話頂きました。



1日目(8月9日)、道具、材料の説明の後、練習として5cm角のサイコロを制作して頂きました。まっすぐ切る、小口を見せないための細工の練習です。簡単なようでうまくいかない。何度か失敗を繰り返し形にしていきました。

その後、床の切出し、壁の切出しを行いました。慣れない作業に加え、細かい作業の連続、みなさん苦戦していました。カッティングのコツや工夫を講師、スタッフにてアドバイスし、少し慣れてきたところで初日は終わりました。みなさんが口を揃えておっしゃったのは窓の開口部の切出しが難しいということでした。1日では身に付かない技術ですので継続して制作して頂ければと思います。



2日目(8月10日)、屋根部分の制作を行いました。課題のプランはこちらで用意したのですが、自らアレンジを加え切妻屋根から寄棟に変える方もいました。建築は様々ですので工夫してアレンジして頂くのは大歓迎です。こちらにもそれに対応したアドバイスをさせて頂きました。

後半、外構を制作して頂きました。外構は自然相手であり感性が問われます。材料の説明、基本的な考えを説明したら後は個別にアドバイスしました。ウッドデッキを作り込まれたり、門柱をアレンジしたりと個性が光りました。もっと材料の幅を広げても良かったなと思いました。



今回参加頂きましたアンケートによりますと、内部の間仕切りを制作したいとの意見が多く寄せられました。その結果を踏まえ次回も講習会が行われることを願います。

最後になりましたが、模型講習会にあたり、青年委員会メンバーの協力を頂きました。また特別講師としまして大和工藝林氏にも多大なる協力、理解を頂きました。あらためて御礼申し上げます。



(記・青年委員会 谷 幸治)

## ■ 8月9日(土)

### 模型講習会 1日目

奈良県建築士会青年委員会主催の第2回建築模型講習会に参加しました。私は現在、青年委員会の委員として活動しておりますが、今回は受講生として参加いたしましたので、受講生から見た当事業の感想などを報告いたします。

講師は建築模型やジオラマ模型を制作されておられる(株)大和工藝さん。講習会の冒頭に、初めて模型作りを経験される方もおられたので、制作に必要な道具や材料について、分かりやすいイラスト資料を用いて説明いただきました。

まずは50mm角の立方体の制作を行いました。小口が見えないようにスチレンボードのコート紙の一枚残しやカッターの刃先の角度などに注意しなければなりません。

次に立面図を参考にしながら外壁の制作を行いました。

外壁は開口部が四方に囲われていて練習で作った立方体とそう変わらないなと思っていたのですが、いざ、制作してみるとベランダで隠れている開口部や棟木が中央からズレているので勾配が変わる事など、気をつけるべきポイントが多くあることが分かりました。



緊張の作業開始です！

## ■ 8月10日(日)

### 模型講習会 2日目

立面図に加え、屋根伏図も参考にして作業に取り掛かりました。屋根は小口を斜めにカットし、山と谷に注意しなければ接着面が綺麗に仕上げる事が出来ないので、模型屋さんのこだわりと工夫をカッターで感じる事ができました。

建物がおおむね、完成した後は外講や植樹などの制作を行いました。ビィベール、タント、アンドレ、レザックといった紙を使用しての作業となりましたが、途中で時間切れ。残念ながら、100%の完成には至りませんでした。

今回の模型講習会で、自身が制作した建築模型をいつも目に付くところに置き、日々精進していかなければならないと思いました。薄皮を剥くような成長ですが、いつかは

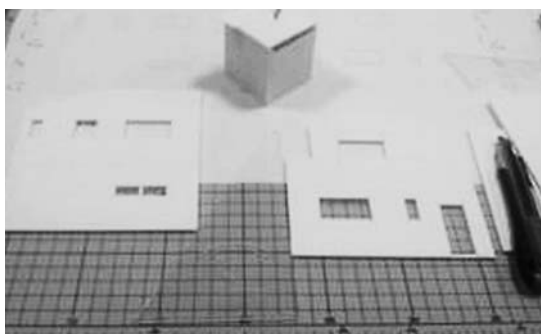
仕事のプラスになればと思います。

最後に講習会の講師を務めて下さった谷さん、林さん。建築士会の青年部のスタッフに感謝します。

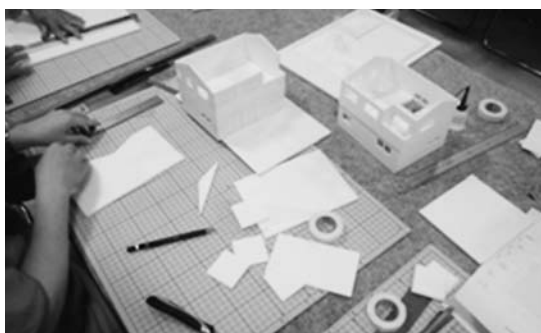
(記・受講者 岡田卓佳)



講師のお二人



練習で作った立方体と外壁



完成に近づいていきます



完成した模型



# 平成26年度 奈良県エリアマネジメント推進事業経過報告

## — 1回目；桜井市本町地区—

奈良県が、町家等の地域資源を活用して、地域の人々が主体的に取り組む「エリアマネジメント」活動を実施する団体等に対して、補助する実施事業者として採択された4地区を支援する「エリアマネジメント中間支援事業者が決定しました。今回は、建築士会に所属するヘリテージマネージャーと大学が協働する桜井本町周辺地区の事業をご案内させていただきます。(レポート；桜井支部 中尾)

### 中間支援事業者；飛鳥ニューツーリズム協議会

#### 県内4地区のエリアマネジメント実施事業者

- 公益社団法人 奈良まちづくりセンター
- NPO法人 今井まちなみ再生ネットワーク
- NPO法人 八木まちづくりネットワーク
- 桜井市本町通・周辺まちづくり協議会

### ●桜井市本町地区におけるエリアマネジメント推進事業

桜井市本町通1丁目～3丁目では、昨年度～現在にかけ、アーケードの撤去が始まった。それに伴い、今後、周辺地域も含め、商売をやめた店舗は、看板建築を取り外し、本来の姿である町家に修景していくためのデザインコードづくりが求められている。また、空き店舗や空き町家を利活用し、必要な機能を必要な場所に配置していく実施事例(居場所づくり、次世代事業者の事務所、大学 세미나ハウス等)が出来始めている。

H26年度 奈良県エリアマネジメント推進事業

### 桜井駅南側エリアにおける「まちのビジョンづくり」と「景観まちづくり」ワークショップ

桜井市本町通・周辺まちづくり協議会では、奈良県から採択をいただき、エリアマネジメント推進事業に取り組んでおります。現状の課題は、中心市街地の空洞化(空き町家や空き店舗の増加)に伴い、建物の崩壊、火災など年々、危険な状況が増えています。今、私たちに求められていることは、地域資源(歴史的文化遺産、良好な景観、郷土愛など)を大切にしながら、次世代まで、安全安心に暮らせるまちをつくることです。そして、自分たちのまちを自分たちで考え、具体的に解決策を見出さなくてはなりません。そこで、下表の通り、住民・大学・行政など関係者が集まり、このまちの将来の大きな方向性を話し合う「まちのビジョンづくりワークショップ」と これからの景観のあり方を考える「景観まちづくりワークショップ」を開催しますのでご参集の程、よろしくお願いたします。



※シナリオプランニングとは

起こりうる未来をいくつか想定し、複数の異なるシナリオを描いていく。複数の未来を考えることで、幅広い可能性を検討することができ、シナリオの分岐点を通して、望ましい未来へ向かうために何が成功要因になるかを見出す。未来の選択肢が一つではなく、複数あることを理解し、自分たちが主体的に未来を選択することが可能となる。自治体においても、例えば小田原市では、総合計画策定にあたり、34の施策において、現状から未来に向けて、どのようなプロセス展開の可能性のあるかを複数のストーリーとして描く取り組みが進んでいる。その過程では、異なる部署の職員同士がシナリオをもとに垣根を越えて、市の未来をどうしていきたいのかといった話し合いがいたることで行われるなど、効果的な組織学習が進んでいる。

### ワークショップスケジュール

#### ＜日程と内容＞

月 日	時間・場所	内 容	進行役
8月29日	金 13:30～16:00 桜井本町たまり場	桜井市本町通・周辺地域における町家調査中間報告会	林田大作研究室 (大阪工業大学建築学科准教授)
9月21日	日 13:30～17:00 エルト2階 市民活動交流拠点	エルト2階拠点の方法について 一部：ありたい姿を考える(ワールドカフェ方式) 二部：具体化計画を考える(プロアクションカフェ方式)	岡本健 (桜井市本町通・周辺まちづくり協議会副会長(兼)日本ファシリテーション協会会員)
10月5日	日 13:30～17:00 エルト2階 市民活動交流拠点	シナリオプランニング1回目；桜井駅南側エリアの未来について	荒金雅子 (日本ファシリテーション協会理事)
10月19日	日 13:30～16:00 エルト2階 市民活動交流拠点	景観まちづくりワークショップ1回目 ；これからの町並み景観をみんなで考えよう(その1)	建築士会(ヘリテージマネージャー) 林田研究室(大阪工業大学)
11月2日	日 13:30～16:00 エルト2階 市民活動交流拠点	景観まちづくりワークショップ2回目 ；これからの町並み景観をみんなで考えよう(その2)	建築士会(ヘリテージマネージャー) 林田研究室(大阪工業大学)
11月30日	日 13:30～17:00 エルト2階 市民活動交流拠点	シナリオプランニング2回目；桜井駅南側エリアの未来について	荒金雅子 (日本ファシリテーション協会理事)
12月20日	土 13:30～17:00 エルト2階	シナリオプランニング3回目；桜井駅南側エリアの未来について & 景観まちづくりワークショップ3回目	荒金雅子・岡本健(同上) 建築士会(ヘリテージマネージャー) 林田研究室(大阪工業大学)

主 催：桜井市本町通・周辺まちづくり協議会 協 力：大阪工業大学、(一社)奈良県建築士会、(一社)うるわしの桜井をつくる会

参加自由(申込不要)

お問い合わせは同事務局 TEL0744-42-2607



# 特別寄稿 江戸時代の地域(現奈良県五條新町) の大工職人

藤井正英  
 昭和24年生(1949年)、五條市在住  
 ・約25年前から五條周辺地域の古文書の調査、目録作成に従事  
 ・『五條社会歴史研究』を発売(第一集～第五集)  
 ・『新町・松倉豊後守重政四百年記念誌』、『新町と松倉問答』の編著  
 ・『中家文書調査報告書』五條市教育委員会編集(調査・執筆)  
 ・日本史研究会会員  
 ・五條市立文化博物館館長、五條市文化財保護審議会委員、五條市伝統的建造物群保存地区保存審議会委員  
 ・町おこしの民間団体、新町松倉講(講元榎野久春)の講員

## はじめに

五條新町は全国で88番目の重要伝統的建造物群保存地区として2010年に文化庁の選定を受けたが、重要文化財の栗山家住宅をはじめとした江戸時代の町屋が多数軒を連ね、町並みの風景は圧巻である。これらを立てた大工職人はどういった出自の人々であろうか。当時、人気職の筆頭であった大工職人について少し触れてみたい。

### 1. 大和国大工組

約220年前の寛政7年(1795)、大和国宇智郡五條村(現奈良県五條市)に徳川幕府の直轄地を支配するための五條代官所が設けられた。代官所は宇智郡・吉野郡・宇陀郡・葛上郡など大和国内にある5～7万石分の天領を支配して、いわば南和地域の拠点となり、「大和国の儀、奈良は首分、五條は尾にて一方欠ヶ候ても成り難き土地につき、首尾相連ね」なければならないと認識された。その役所を建設するに当たっては、大和国大工組織(三輪組・多武峯組・高田組・布施組・犬飼組など11組)に対して入札を実施している。宇智郡の犬飼組からは新町村宇兵衛、須恵村源次郎、野原村伊三郎らが参入しており、一旦は新町村宇兵衛が落札するが、特殊な事情が露見して結果的に建設を請け負ったのは多武峯組の瓦屋太兵衛である。大和国内の広い幕府領を管轄する役所の建設には犬飼組だけにその権利を限定しなかつたらしい。



【鑑札(米田良昭氏蔵)】

近世において、京都の中井家が畿内と近江の6ヶ国に居住する大工を統括していたが、特に寺社建築においては、請け負い大工や組頭は奈良奉行所や中井家へ申請書を提出して認可を得る必要があった。

### 2. 犬飼組について

半世紀ほど時代は下るが、天保14年(1843)の犬飼組西方大工の人員は一覧の通りである。62人が大工職人の総計であるが、犬飼組東方もほぼ同数と考えると犬飼組全体では120人余が登録されていたことになる。当時の宇智郡は約60村で成り立っていたので、宇智郡では一村平均2人の大工職人が存在していた勘定になる。また、犬飼組の19世紀の組合規約では、各組のテリトリーである「出入り場」を越えて他の組の管轄へ「入り込み稼ぎ」をする風潮への対応策が記されるようになるが、宇智郡内の仕事は犬飼組が原則的に差配していたはずである。

【宇智郡犬飼向寄大工職・弟子の村別人数】								
村名	大工数	弟子数	村名	大工数	弟子数	村名	大工数	弟子数
五條村	15人	3人	西川内村	2人		丹原村	1人	
須恵村	9	4	三在村	3		犬飼村	1	
新町村	7	5	阿田村	1		樞辻村	1	
下中村	2		原村	1		野原村	3	3
下之村	1		佐名傳村	1		靈安寺村	1	
上之村	1		二見村	1		岡村	1	
近内村	3	1	大沢村	1		八田村	1	
小和村	1		黒駒村	1		計	62人	16人
久留野村	1		表野村	2		(25村)		
備考	○米田家文書 天保14年3月「和州犬飼向寄大工」から作成。							

### 3. 地域社会の建築状況

掘立式の家は近隣・縁者の素人に近い技術で建設が可能であったが、礎石式家屋の建設は専門の寺大工の技術でしか不可能であるという。礎石式家屋によって天井・居間・座敷の間などを設けることが可能となり、その技能を持った大工棟梁は、左官・屋根屋・畳師・表具師など各分野の職人を統括した。宇智郡上之村金光寺の本堂は、明和4年(1767)に大工棟梁新町村清兵衛によって建立されている。五條代官所の掛屋(一種の銀行業)を務めた新町の柏田家の旧本邸は、寛保2年(1742)に「大工棟梁堀之内清兵衛貞房、小工犬飼村忠兵衛・上野村太兵衛・野原村彦兵衛、木挽中町喜兵衛、徒弟源六・甚右衛門」の構成で建設されている(『五條市史(下)』)。金光寺と旧本邸の大工棟梁清兵衛は同一人を指している。

天誅組の変の際に村役人に任命された宇智郡三在村の大工米田清六は多数の文書『書出帳』を残しているが、それによれば次のような建築に関わっている。一つには、豪農・豪商、庄屋、在地代官などを務めた高嶋邸(嶋野村)・平井邸(今井村)・辻本邸(中村)・中邸(住川村)・堤邸(五條村)などの地域の有力者の屋敷。ちなみに堤邸は吉田松陰が滞在した堤孝亭宅だと推測される。一方、小嶋村の栄山寺、御霊神社や三在村の竜池神社など15以上の寺社の修築、新築などにも携わっている。

以上まとめると、犬飼組など組合仲間の大工職人が管轄地域内の建築物を建てているが、重要伝統的建造物群保存地区の優れた建物も、近隣の寺大工の技術を持つ大工棟梁が原則的には携わったのであろうと思われる。彼らはさまざまな機会を通して技量を磨いた。また、奈良奉行所や京都の中井家へ申請書を提出するために奈良・京都をはじめ、堺や大坂へも出かけているが、その『道中記』からは、各地の建具屋・金物屋・金物類赤店・金物類鉄店へ立ち寄り、新しい道具を購入している様子が窺える。

(記・五條市立五條文化博物館館長 藤井正英)



青年委員会

# 今年も大和さくらい「万葉まつり」に参加します 是非、お越し下さい

平素は青年委員会活動にご協力いただき、ありがとうございます。  
さて我々青年委員会は、9月6日(土)に桜井市で開催される「大和さくらい万葉まつり」に参加いたします。

本まつりにはここ数年、継続して参加しており、多くの一般市民の方々と交流を通じて、建築士及び建築士会のPRをさせていただいています。

和楽器パフォーマンスや屋台の出店などもございますので、2014年夏の思い出作りとして、ご家族、ご友人とお誘い合わせの上、お越しください。



昨年からお揃いの赤のポロシャツを着てPR活動。



たくさんの方に手作りカヌーを体験して頂きました。



開催日時：2014年9月6日(土)  
14:00~20:30(雨天翌日順延)  
場所：桜井市金屋 河川敷公園特設会場

### —青年委員会の参加概要—

- ① 会場である大和川にカヌー(奈良県産材を用いて、青年委員会の有志が制作)を浮かべて、子供を中心とした来場者の方々に乗船していただきます。
- ② 建築士会ブースを設けます。  
ブース内では来場者の方々に青年委員会のメンバーが手作りの「木のパズル」に挑戦いただくとともに、建築士会PRちらしの配布や建士会活動報告パネルの掲示などを行います。

2014年 9/6 (土)  
14:00~20:30(雨天翌日順延)  
金屋河川敷公園特設会場  
イベント情報です。ホームページにも詳しく掲載しています。ご確認ください。  
<http://www.manyou-fes.jp/>

SPECIAL LIVE 3hearts  
GUEST LIVE 現代版海石榴市「ルシヤ」 Le Siana

《無料シャトルバス運行》  
《ご注意ください。》

歴史街道

本まつりに関わらず、他地域・他イベントにも、積極的に参加したいと考えていますので、そのような場をご存知の方がおられましたら、青年委員会メンバーにお声掛けをお願いします。  
(記・青年委員会 向出篤史)



## お知らせ

# Information

### ●平成26年度 一級・二級・木造建築士定期講習のお知らせ

改正建築士法により、建築士事務所に所属するすべての建築士は、登録講習機関が行う建築士定期講習を3年以内ごとに受講しなければなりません。未修了の方は受講いただきますようご案内申し上げます。

平成26年度の開催予定は次の通りです。

- 講習会月日：平成26年11月19日(水)  
場所：奈良県産業会館  
受付：平成26年9月1日(月)～9月17日(水)  
定員：100人
- 講習会月日：平成27年2月25日(水)  
場所：春日野荘  
受付：平成26年12月1日(月)～12月17日(水)  
定員：60人

\*2回目受講者の方には(公財)建築技術教育普及センターから直接ご自宅に前回の内容が掲載された申請書が郵送されますので内容をご確認のうえ申請手続きをお願い致します。

\*平成26年度の定期講習は、(一社)奈良県建築士会が受付を行っております。

\*詳しくはHP又は事務局(0742-30-3111)までお問い合わせ下さい。

なお、26年度の受講申込書は常時配布致します。

### ●平成26年度 建築士試験日程のご案内

- 平成26年一級建築士試験日程
  - 「学科」合格発表 9月9日(火)頃
  - 「設計製図の試験」 10月12日(日)
  - 「設計製図」合格発表 12月18日(木)頃
- 平成26年二級建築士試験日程
  - 「学科」合格発表 8月26日(火)
  - 「設計製図の試験」 9月14日(日)
  - 「設計製図」合格発表 12月4日(木)頃
- 平成26年木造建築士試験日程
  - 「学科」合格発表 9月9日(火)頃
  - 「設計製図の試験」 10月12日(日)
  - 「設計製図」合格発表 12月4日(木)頃

### ●平成26年度 設備設計・構造設計一級建築士講習について

申込書頒布は終了しました。

- 設備設計一級建築士講習  
講義：8月27日(水)～9月12日(金)(連続する3日間)  
修了考査：10月5日(日)

- 修了発表：12月10日(水)頃
- 構造設計一級建築士講習  
講義：9月1日(月)～9月19日(金)(連続する2日間)  
修了考査：10月19日(日)  
修了発表：12月17日(水)頃  
※詳細は(公財)建築技術教育普及センターのHP(www.jaeic.or.jp)をご覧ください。

### ●平成26年度 インテリアプランナー試験案内申込書について

- 頒布期間：7月31日(木)～9月19日(金)
- 頒布場所：(一社)奈良県建築士会 事務局
- 頒布価格：1セット 1,080円(消費税込み)
- 受付期間：8月1日(金)～9月19日(金)
- 受付場所：(公財)建築技術教育普及センター 本部
- 申込方法：受付場所(建築技術教育普及センター本部)へ郵送で申込んで下さい。

#### ○試験日

試験日	試験の区分	時間
平成26年 11月16日(日)	学科試験	9:30～11:00 (1時間30分)
	設計製図試験	12:00～18:00 (6時間)

※試験に関するお問い合わせ

(公財)建築技術教育普及センター 近畿支部  
TEL:06-6942-2214

#### ご挨拶



7月より奈良県建築士会事務局に勤務させていただきますことになりました小林智子(こばやしともこ)と申します。

右も左も分からず、皆様には色々な場面でご迷惑をおかけするかとと思いますが、その際にはご教示いただけますようお願いいたします。一日も早くお役に立てるように頑張りたいと思っています。これからどうぞよろしく願いいたします。

### 新入会員のご紹介 『よろしく』

氏名	支部	〒	住所(自宅)	勤務先
高田 幸伸	高田	636-0121	生駒郡斑鳩町興留東1-8-12	村本建設(株)

### 平成26年度賛助会員

士会の各活動は次の方の賛助を得て行われています。

会社名	代表者	住所	TEL
クマリフト(株)	熊谷京子	大阪市西区京町堀1丁目12番20号	06-6445-1011

## 編集後記

情報・広報委員になり2回目の委員会に出席したところ突然委員長から編集後記を書く依頼がありました。

先日、立川談春の落語会を、見に行ったのですが、演目は、【たちきり】桂木朝一門が得意とする上方落語の人情話です。

お話は、とある商家の若旦那は、それまで遊びを知らず誠実に働いていたが、友達に誘われて花街へ行き、置屋の娘で芸者の小糸に一目惚れをしました。若旦那はたちまち小糸に入れあげ、店の金にまで手を付けることとなります。

そこで、番頭は、ふたりを逢せないようにするために、若旦那に対し店の蔵の中に押し込み、100日間そこで暮らすよう言い渡します。小糸の店からは、毎日のように手紙が来ますが、番頭は若旦那に見せません。80日目、ついに手紙が来なくなります。100日が経過し若旦那が置屋へ着くと、若旦那は女将に位牌を見せられ、小糸が死んだことを知ります。若旦那が仏前に位牌と三味線を供え、手を合わせた時、どこか

らともなく若旦那の好きだった地唄【雪】が流れてきます。「小糸、許してくれ。わたしは生涯妻を持たない」と呼びかけます。その時急に三味線の音が止まります。女将は、「若旦那、あの子はもう、三味線を弾けません」と言う。若旦那が「なぜ?」と聞くと、「仏壇の線香が、たちぎれでございます」

立川談春といえば先日ルーズベルトゲームのイツワ電器社長役で有名で、今最もチケットの取れない落語家として有名です。師匠は、笑点の初代司会者で、【芝浜】が18番で2011年に亡くなった、立川談志です。立川流四天王落語は伝統芸能ですが、最初は師匠の落語を聞くところから始まり、師匠の前で一席をはなし、その後、何回も高座にかけて、最後には、自分流のアレンジをして伝統を踏まえ新しい現在の人々に受け入れられるはなしにしてい、まさに、私たちの仕事に通じるものがあると思います。

(記・藤井靖彦)

## 士會奈良

通巻597号  
平成26年9月1日(発行隔月1回1日発行)

発行所 一般社団法人 奈良県建築士会  
〒630-8115 奈良市大宮町2丁目5-7 奈良県建築士会館  
電話 0742-30-3111 FAX 0742-33-4333  
<http://nara-kenchikushikai.or.jp/>  
[info@nara-kenchikushikai.or.jp](mailto:info@nara-kenchikushikai.or.jp)

発行責任者 瀧上 徳光  
編集 (一社)奈良県建築士会 情報・広報委員会  
印刷所 株式会社 明新社

## Calendar

2014年9月

- 1(月) 第3期定期講習受付  
(9/17まで 土日祝除く)
- 9(火) 一級・木造建築士試験(学科)合格発表
- 14(日) 二級建築士試験(設計製図)
- 15(月)  敬老の日
- 23(火)  秋分の日

## Calendar

2014年10月

- 12(日) 一級・木造建築士試験(設計製図)
- 13(月)  体育の日
- 24(金) 第57回建築士会全国大会ふくしま大会  
(25日まで)



### 平成25年度 1級建築士 設計製図試験



奈良県の合格者のおよそ6割は、  
当学院の現役受講生でした。

奈良県  
合格者  
占有率

**58.3%**

奈良県合格者36名中、当学院現役受講生21名



### 平成25年度 2級建築士 設計製図試験

奈良県の合格者の  
およそ2人に1人は、  
当学院の現役受講生でした。

奈良県 合格者占有率

奈良県合格者61名中、  
当学院現役受講生29名

**47.5%**

平成25年度 宅建本試験

平成25年度 1級建築施工管理技術検定 学科試験

平成24年度 1級建築施工管理技術検定 実地試験

当学院基準達成  
現役受講生  
合格率

**82.9%**

当学院基準達成  
現役受講生  
合格率

**95.2%**

当学院  
現役受講生  
合格者数

**956名**

8割出席・8割宿題提出・公開統一模試得点率8割以上  
現役受講生 252名中合格者 209名

8割出席・8割宿題提出  
現役受講生 230名中、合格者 219名

※総合資格学院の合格実績には、模擬試験のみの受験生、教材購入者、無料の役務提供者、過去受講生は一切含まれておりません。

無料

## 体験入学会・講座説明会実施中!!

実績が証明した、当学院講座品質。ぜひ、体験してください。

1級・2級 建築士

1級・2級 建築施工管理技士

構造設計1級建築士

1級・2級 土木施工管理技士

宅地建物取引主任者

インテリアコーディネーター



## 総合資格学院

講座に関するお問合せ・資料請求はコチラまでお気軽に!

奈良校・橿原校

〒631-0822 奈良県奈良市西大寺栄町3-27 泉谷ビル 4F

TEL.0742-30-1511

[www.shikaku.co.jp](http://www.shikaku.co.jp) 総合資格

検索